

研 修 報 告 書

令和 7 年 2 月 28 日

長浜市議会議長 様

長浜市議会議員 大橋 延行



私が出席した次の研修の結果について報告します。

記

1. 研修名 地方議員研修会
2. 研修日時 令和7年2月12日 (水)
3. 研修場所 京都市南区東九条西山王町1番地
4. 研修テーマ 自治体病院の基礎と課題
5. 講師 城西大学経営学部教授 伊関友伸氏
6. 調査内容感想等

・研修の目的

全国の自治体病院の現状と課題について、客観的なデータ・資料に基づいた分析内容の説明を受け、長浜市の病院事業の在り方や将来の注意点をご指導いただくため

・研修の内容

自治体病院の多くが中小規模の自治体に立地しており、地域事情・病院規模は様々である。

自治体病院は、当初収益の上がらない診療であった新型コロナウイルス感染症の治療について積極的に患者を受け入れ、地域医療の崩壊を防ぐ役割を果たした。このような観点から、公的病院を縮小し医療費を抑制するという議論には根拠がない。

【病院統合再編は医療を残すための選択肢であること】

【ローコストの病院建築】

【経営形態・地方独立法人の導入、指定管理者制度の導入】

【診療報酬改定など医療を取り巻く環境及び地方の自治体病院の経営状況等の現状】

について講義を受けた。

- ・研修の結果を本市にどのように反映させるか

自治体病院の果たすべき役割と、今後の病院の健全経営に向け、どのように調整し実行していくのか課題を、市民の方に対して情報開示しながら丁寧な説明をしていきたい。